

Advanced南薩

一学期は、9校の学校を訪問させていただきました。各学校ともそれぞれの教育課題の解決に向けた取組や特色ある学校づくりが進められていました。授業参観では、子どもたちが真剣に学習に取り組む様子を見ることができました。各学校の特色ある取組をまとめましたので、参考にしていただきたいと思います。二学期、管内の全ての学校の教育活動が一層充実していくことを願っています。

南九州市立知覧中学校

校訓：自主、敬愛、練磨
 学校教育目標：豊かな心と体で確かな学力を身に付け、知覧の未来を担える生徒の育成



組織として、生徒指導に係る対応を行っており、不登校等の改善が図られ、落ち着いた雰囲気の中で授業が行われていました。



「教えて考えさせる授業」の実践、学力向上アンケートの実施、小学校と連携した「我が家のルール」の作成、60・30学習法の推進など学力向上に係る取組が充実していました。

【学力向上まとめ】

「具体的な把握があるからこそ！」

学力向上に向けての取組は、課題を明確にすることから始まります。そのために、

- ・学力の経年変化の把握
- ・小・中学校間での情報共有
- ・正答数の分布状況をグラフ化
- ・意識調査と学力の相関の確認

など、実態を捉える工夫がなされていました。個人ファイルを作成しようとする学校が多かったのも、その現れでしょうか。

「まずこれを！」

授業改善、指導力向上に向けての取組をより実効力のあるものにするためには、組織体として協働していく営みが欠かせません。「まずこれを」と取り組むことが誰にも明確になっている学校がある一方で、「どこまで実践できているのか」把握しにくい学校もありました。

ぜひ、「一点突破」で、PDCAサイクルを確実に回してください。



外部講師を招聘したりワークショップ型にしたりするなど研修の充実が図られていました。また、小中連携部会を月1回実施し、連携を深めていました。

枕崎市立別府中学校

校訓：向学、自律、友愛
 学校教育目標：仲間と共にたくましい未来を拓く生徒の育成



確かな学力の定着をめざし、丁寧な事前の授業準備や個に応じた指導の推進、「ゆうきタイム」（週1回 15分の朝自習）の設定など充実した取組が行われていました。

枕崎市立枕崎小学校

校訓：誠
 学校教育目標：自ら学び考え、豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成



「元気あいさつ大作戦」の取組や「三つの『あ』」（あいさつ・安全・後始末）を重点項目とした取組など生徒指導の充実が図られていました。



学習のしつけが行き届き、落ち着いた雰囲気の中で授業が行われており、学校の一体感が感じられました。また、個別指導・補充指導の時間を設定し、個に応じた指導の充実が図られていました。

【生徒指導まとめ】

生徒指導上の諸課題に対してどの学校も積極的な指導を行っていました。不登校の改善が図られていた学校では、次のような取組を推進していました。

- ・ チームによる支援、指導態勢の共通理解
- ・ 定期的なケース会議、校内委員会の実施
- ・ 子どもと保護者がいつでも語れる場などの環境づくり
- ・ 継続的支援を意識した個別の支援計画、指導計画の作成
- ・ 養護教諭によるカウンセリング対応

全校態勢による情報の共有、指導態勢の共通理解は、不登校の改善を図るためにもとても大切なことです。各学校での態勢を確認していただき、より一層の充実した指導をお願いします。



ワークショップ型の授業検討会を実施し、指導法改善に努めていました。地域ボランティアによる読み聞かせ、月1回の俳句集会など創意あふれる活動が充実していました。

南九州市立大丸小学校

校訓：進んで学ぶ光の子、がんばりぬく力の子、みんななかよし世界の子
 学校教育目標：確かな学力を身に付け、自他のために進んで汗する、心優しい大丸の子どもの育成



「伝え・学び合う」過程を研究したり「発表の手引き」、「比較カード」等を作成し活用したりするなど児童一人一人のよさを引き出す複式指導が工夫されていました。

指宿市立開聞小学校

校訓：共に学び、共に励み、共に進もう

学校教育目標：夢をもち感動し、心身ともに健康で創造性に富み、自ら学ぶ意欲と豊かな心をもった開聞の子どもを育てる。



運動能力等の実態を的確に把握し、個々の課題に即した適切な指導・助言や授業の指導法改善を図ったことで体力が向上しました。



家庭科の「ミシンの使い方」や国語科の「毛筆」の指導に地域ボランティアを活用するなど学校応援団の取組が充実していました。

また、「子どもを語る会」で情報を共有し、生徒指導上の課題への早期対応に努めていました。

【保健体育まとめ】

◇体力向上の手立て

各学校では、個に応じた記録カードの作成、継続的な記録の掲示、体力測定器具の設置場所の工夫など多くの体力向上の手立てが取られていました。また、体力づくりを重点項目に加え、より高い意識で体力向上の推進が図られていました。今後も一校一運動の取組改善や「チャレンジかごしま」への継続した取組をお願いします。

◇体育授業の改善

地域指導者を活用し、生徒の意欲・技能向上を図っていました。また、授業前のサーキットトレーニングやオリジナル体操を取り入れ、体力の二極化解消を図っていました。今後も、運動量の確保と課題の共有を図り、体育授業の5原則を意識した授業改善をお願いします。

◇学校保健・安全関係の取組

児童生徒の目線に立った地域と連携した安全マップの作成が進んでいます。また、豪雨災害等を想定した避難訓練の実施を行うなど実効性のある訓練を工夫していました。なお、廊下に柵が設置されていたり窓際に足がかりになるものが置いてあったりする学校がありました。改修などと共に、児童生徒への注意喚起が必要です。今後も「命・健康・心を守る」視点から様々な改善をお願いします。

「生徒指導の日」を設定し、共通理解を図るなど組織として一丸となった充実した生徒指導を行い不登校の改善が図られました。

南九州市立青戸小学校

校訓：かしく やさしく たくましく

学校教育目標：豊かに学び、生きる力と夢をもつ青戸っ子の育成



「指導法改善デザイン」、「授業づくり10の視点」などを共通理解、共通実践し、指導法改善を図っていました。また、チャレンジタイムを日課表に位置付け、基礎学力の定着を図っていました。



指宿市立利永小学校

校訓：かしく たたくましく

学校教育目標：心豊かでたくましく自ら進んで行動できる利永の子どもを育てる



「家庭学習の仕方」の共通理解を図ったり「学習習慣マスター作戦シート」を活用したりするなど学力向上の取組が充実していました。

また、学校応援団の取組が充実していました。



「事例の日」で児童の様子について情報共有を行ったり、月末アンケートを実施したりするなどいじめ・不登校の未然防止の取組が充実していました。

【社会教育まとめ】

訪問した多くの学校で「地域とのつながり」を学校経営に生かしておられる様子がうかがわれました。その中で、南さつま市立川畑小学校の校訓「心は陽の如く 智は光の如く」が特に印象に残りました。郷土の先輩で東大の名誉教授の方の言葉だということでした。「劫初より作りいとむ殿堂にわれも黄金の釘一つ打つ」。これは、県教育委員会発行の「信頼される教職員・学校を目指して」でも紹介されている与謝野晶子の句です。校訓には、学校に対する当時の人々の思いが込められています。それを大切に受け継ぎつつ、その時その時の教育課題に対応する学校教育目標を設定して具体的に実践することで、ぶれない経営が図られていくのではないのでしょうか。

授業充実の3ポイントを共通実践したり、学力向上月間を設定したりするなど基礎・基本を確実に定着させ、活用力の育成を図っていました。

南さつま市立川畑小学校

校訓：心は陽の如く 智は光の如く～かしく、わけへだてなく、バランスよく、たくましく～

学校教育目標：豊かな心・確かな学力・たくましい体をそなえた川畑の子を育成する。



農業体験活動、老人クラブとの連携、郷土芸能への参加、川畑道場（学校外活動塾）との連携など、学校・家庭・地域社会が一体となった子どもを取り巻く教育活動の充実が図られていました。



南九州市立清水小学校

校訓：かしく やさしく たくましく

学校教育目標：心豊かで元気あふれる子どもの育成



児童集会における「言語活動の充実」を図った取組や「新聞タイム」の活動、ワークショップ型授業研究による授業分析など学力向上の取組が充実していました。



実態を踏まえた計画的・継続的な関わりを意識した個別の指導計画・支援計画の作成や丁寧な保護者対応、組織としての関わり等、積極的な生徒指導により不登校が改善されました。